

# 安曇野市子ども・子育て支援事業計画

～ 平成27年度 事業報告 ～

# 1 「幼児期の教育・保育」について

＜所管課：子ども支援課＞

○平成27年度

\*確保内容（施設）については、現状施設の利用とし、3～5歳において確保内容を上回る定員（▲印）については、特例給付として認可保育所で対応します。

○平成27年度（計画）

[単位：人]

項目	保育認定	1号		2号		3号	
	保育の必要性	なし		あり		あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
①量の見込み		656	6	1,712	439	75	
②確保内容（受入施設）							
	認可保育所・幼稚園	194	6	1,612	389	55	
	認可外保育施設	0	0	70	30	10	
	地域型保育事業	0	0	0	0	0	
	事業所内保育事業	0	0	30	20	10	
③過不足（②-①）		▲462	0	0	0	0	

○上半期実績

[単位：人]

項目	保育認定	1号		2号		3号	
	保育の必要性	なし		あり		あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
①量の見込み		492	0	1,739	411	41	
②確保内容（受入施設）							
	認可保育所・幼稚園	118	0	1,694	360	35	
	認可外保育施設	41	0	34	19	4	
	地域型保育事業	0	0	0	0	0	
	事業所内保育事業	0	0	11	32	2	
③過不足（②-①）		▲333	0	0	0	0	

○平成27年度実績

[単位：人]

項目	保育認定	1号		2号		3号	
	保育の必要性	なし		あり		あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
①量の見込み		528	0	1,718	410	51	
②確保内容（受入施設）							
	認可保育所・幼稚園	125	0	1,684	354	43	
	認可外保育施設	42	0	23	26	6	
	地域型保育事業	0	0				
	事業所内保育事業	0	0	11	30	2	
③過不足（②-①）		▲361	0	0	0	0	

○考察及び今後の検討課題など

1号認定の子どものニーズに対する確保内容について不足が生じているため、公立の認可保育所で特別利用保育を実施して対応しているが、計画どおり平成29年度に公立の認可保育所を認定こども園へ移行させることにより、ニーズを満たすことができる見込である。

2号認定の子どものニーズは減少傾向であり、ニーズに対する確保内容について不足は乗じていない。

3号認定の子どものニーズについては増加傾向であり、今後、確保内容に不足が生じる見込であり、地域型保育事業の推進により対応していく。

## 2 「地域子ども・子育て支援事業」について

### (1) 妊婦健康診査<所管課：健康推進課>

[単位：回]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	8,282	4,286	<b>8,200</b>
②確保内容	8,282	4,286	<b>8,200</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

平成27年4月～3月末分までの受診分。ほぼ計画通りの実績です。

### (2) 乳児家庭全戸訪問事業 <所管課：健康推進課>

[単位：回]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	696	321	<b>648</b>
②確保内容	696	321	<b>648</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

出産直後の不安を解消し、育児支援や養育状況を把握するために早期訪問を継続する。

### (3) 地域子育て支援拠点事業 <所管課：生涯学習課>

**【訂正：冊子P20】**

[単位：人/年間]

項目	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	<b>37,260</b>	<b>37,628</b>	<b>37,154</b>	<b>36,665</b>	<b>36,086</b>
②確保内容	<b>37,260</b>	<b>37,628</b>	<b>37,154</b>	<b>36,665</b>	<b>36,086</b>
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0

[単位：人/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	37,260	9,128	<b>23,317</b>
②確保内容	37,260	9,128	<b>23,317</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

- ・実績値は、参加者の乳幼児 12,223 人、保護者 11,094 人の合計、9カ所の児童館において延べ889回の開催があり1回の平均参加組数は12.5組であった。

#### (4) 延長保育事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：人]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	851	827	<b>874</b>
②確保内容	851	827	<b>874</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

延長保育のニーズに対して確保内容に不足は生じていないが、ニーズは増加傾向であり、現行の延長保育時間(保育所の開設時間)を超えるニーズも生じてくると予想されるが、対応する保育士の確保が課題である。

#### (5) 一時預かり及び幼稚園の預かり保育 <所管課：子ども支援課>

[幼稚園における在園児対象]

[単位：人日/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	792	792	<b>792</b>
②確保内容	0	0	<b>0</b>
③過不足(②-①)	▲792	▲792	▲792

[2号認定における定期利用]

[単位：人日/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	32	0	<b>0</b>
②確保内容	0	0	<b>0</b>
③過不足(②-①)	▲32	0	<b>0</b>

(2) 保育所等における一時預かり(一時預かり保育) [単位：人日/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	4,413	940	<b>2,464</b>
②確保内容	4,413	940	<b>2,464</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

幼稚園の在園児を対象として一時預かりについては、現在確保内容に不足が生じているが、計画どおり平成29年度が実施できる見込みである。

保育所等における一時預かりについては、確保内容に不足は生じていないが、日によっては利用日の調整をする場合もあり、また、突発的な利用に対して保育士を確保できない場合もある。流動的なニーズに対する柔軟な対応(保育士の配置)が課題である。

(6) 病児・病後児保育事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：人日/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	468	468	<b>98</b>
②確保内容	0	0	<b>98</b>
③過不足(②-①)	▲468	▲468	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

計画を前倒して、平成27年度から安曇野赤十字病院の協力を得て、病児・病後児保育室を開設することができた。

現状のニーズ(申込件数)に対して確保内容に不足は生じていないが、潜在的なニーズは現状のニーズよりも多いものと考えられるため、事業内容や利用の仕方等のPRが課題となっている。

(7) ファミリー・サポート・センター事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：人日/年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	1,389	829	<b>1,769</b>
②確保内容	1,389	829	<b>1,769</b>
③過不足(②-①)	0	0	<b>0</b>

○考察及び今後の検討課題など

活動実績全体は対前年比 127.6%と増加したが、病児・病後児を預かる緊急サポートについては、平成27年10月から「病児・病後児保育事業」がスタートしたことにより、対前年比 64.5%と減少している。状況によって預け先を考えるなど、保護者の選択肢が広がったものと捉えている。

子育て家庭を取り巻く課題は多様化・困難化してきており、サポート体制の強化や、料金設定について検討して行く必要がある。

## (8) 放課後児童クラブ事業 <所管課：生涯学習課>

[低学年]

[単位：人日]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	396	424	460
②確保内容	396	424	460
③過不足(②-①)	0	0	0

○考察及び今後の検討課題など

- ・実績値は、通年利用者の最多利用者数を計上。
- ・夏休み等の長期休みのみの利用者を含めると、最多利用者数は714人/日。
- ・年々利用者数が増加の傾向にあり、計画と乖離してきている。

[高学年]

[単位：人日]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①の見込み	197	50	56
②確保内容	197	50	56
③過不足(②-①)	0	0	0

○考察及び今後の検討課題など

- ・実績値は、4年生のみの通年利用者の最多利用者数を計上。
- ・夏休み等の長期休みのみの利用者を含めると、最多利用者数は124人/日。
- ・低学年の申込みが増加しており受入人数が定員限度を超えてしまうため、5年生、6年生の受入ができない状況である。

## (9) 利用者支援事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：箇所]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	30	30	30
②確保内容	30	30	30
③過不足(②-①)	0	0	0

○考察及び今後の検討課題など

広報や子育てガイドブックの発行にあわせ、児童館・保育園などの支援員等にむけて全体的な周知をはかることができた。

今後は認可外保育所や民間団体等についても、細かな情報共有をはかっていきたい。

## (10) 養育支援訪問事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：回／年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	134	45	96
②確保内容	134	45	96
③過不足(②-①)	0	0	0

### ○考察及び今後の検討課題など

- ・現状としては、産後支援として保健師・助産師による訪問となっている。
- ・今後の検討課題は、現訪問家庭について再検討し、虐待のおそれやそのリスクを抱えているなど、特に支援が必要と認められる場合には家庭家事支援の必要性なども検討を進めていく。

## (11) 子育て短期支援事業 <所管課：子ども支援課>

[単位：人日／年間]

項目	27年度 計画	上半期 実績	年度実績
①量の見込み	67	19	21
②確保内容	67	15	17
③過不足(②-①)	0	▲4	▲4

### ○考察及び今後の検討課題など

昨年度は松本赤十字乳児院入所定員が例年になく大幅増であり、ショートステイとしての利用がほとんど受け入れできない状態であった。(上記実績は松本児童園利用者)もう一年経過をみた上で、必要に応じ、計画の見直しをはかっていきたい。

## (12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業 <所管課：子ども支援課>

平成27年度は実績がないが、国庫補助のメニューに合わせて制度を整備する予定である。

## (13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

<所管課：子ども支援課>

幼保連携型認定こども園の新規開設にあたり、補助金を交付して支援を行った。

また、家庭的保育事業を実施するための施設整備に対する補助や事業を開始するために必要となる研修を実施した。

平成28年度は、小規模保育事業の実施に係る施設整備について補助金を交付して参入促進を図る予定である。